

2022年6月20日  
電源開発株式会社  
東海旅客鉄道株式会社

## 武豊線電車運行の二酸化炭素排出量実質ゼロ化について

電源開発株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部肇史、以下「Jパワー」）と東海旅客鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：金子慎、以下「JR東海」）は、これまで二酸化炭素（以下「CO<sub>2</sub>」）排出量削減に向けた協力について検討を重ねてきました。

このたび、JR東海が運営し、名古屋都市圏の通勤・通学輸送等を担っている武豊線（愛知県：大府駅～武豊駅間19.3km）の電車を、CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロで運行することに決定しましたので、お知らせします。

JパワーとJR東海は、今後も地球環境保全を通じた持続可能な社会の実現に向け、連携して検討を深めてまいります。

### 1. 地球環境負荷の低減

JR東海は、武豊線の電車運行に使用する電力量相当分の「FIT非化石証書※」をJパワーから購入して使用することにより、同線の電車を実質的に再生可能エネルギー（以下「再エネ」）由来の電力100%で運行し、CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを達成します。

※「FIT非化石証書」は、FIT制度（再エネの固定価格買取制度）により買い取られた再エネ電力が持つ「非化石価値」を証書化したもの。

### 2. 本取組みによる効果

武豊線の電車運行に使用する年間電力量である約200万kWhに相当するFIT非化石証書を使用することによって、実質的に再エネ由来電力100%で運行することとなり、年間約760tのCO<sub>2</sub>排出量が実質ゼロとなります。

### 3. 再エネ由来電力の使用開始予定

2022年7月1日以降

